



2021年11月11日

各位

会社名 日機装株式会社
代表者名 代表取締役社長 甲斐敏彦
(コード番号 6376 東証第1部)
問合せ先 取締役 コーポレート部門長 小糸 晋
(TEL. 03-3443-3717)

メディカル 国内新工場の建設に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、メディカル事業の新工場を宮崎日機装の敷地内に建設することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 建設の目的

当社は、血液透析治療に欠かせない消耗品である血液回路を、治療を必要とする世界中の患者様へ、ベトナム、タイの2拠点から生産、供給してまいりました。血液回路は、一般的に週3回の頻度で実施される治療の都度、交換が必要となる重要な消耗品であり、治療継続のためには欠くことのできない生命線とも言えるものです。主力の日本市場においては、血液回路供給におけるリーディングカンパニーとして、患者様の大事な命を守る一翼を担ってきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、在ベトナムホーチミンの当社血液回路工場では、当局の感染拡大防止に向けた規制強化によって、2021年6月末から稼働の制限を余儀なくされる事態となりました。お客様への製品供給の継続を第一に、協力会社様の支援や当社タイ工場の増産対応など、あらゆる対応を継続しており、現在、当該ベトナム工場の稼働率も徐々に回復しております。

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、当社を含め世界レベルのサプライチェーンの断絶、混乱をもたらしており、このような経済活動が制限されるリスクへの対応策、新たなサプライチェーンの構築が求められています。

こうした情勢を背景に、当社が透析医療の生命線ともなる血液回路の供給者としての責務を全うしていくためには、生産・供給体制の整備、再構築が喫緊の課題であると再認識し、生産・供給・品質リスクへの各種対応策の検討を行ってまいりました。

このたび、その対応策の一つとして、宮崎日機装に血液回路工場を建設し、製造プロセスの自動化と効率化を行うことで、国内市場へ高品質な製品を安定供給できる体制を構築してまいります。併せて現行の複雑化した商品構成も見直し、型式の集約を行うことで、急激な需給変動への対応力も強めてまいります。これからも、患者様、お客様に向けて持続可能なサプライチェーンの強化を進めてまいります。

2. 新工場の概要

(1) 名称	宮崎日機装メディカル工場
(2) 所在地	宮崎県宮崎市高岡町高浜 宮崎ハイテク工業団地
(3) 延床面積(予定)	約 13,000m ²
(4) 総投資額(予定)	工場建設費用及び設備投資 総額約 73 億円を予定 ・ 2023 年迄：59 億円 (建屋、第 1 生産ライン及びその他設備) ・ 2025 年迄：14 億円 (第 2 生産ライン)
(5) 資金計画	自己資金等により充当
(6) 事業内容	血液透析用消耗品(血液回路)の製造
(7) 従業員数	180 名程度(最大生産時)
(8) 操業開始	2024 年 7 月(予定)

3. 今後の見通し

当該子会社による操業開始は第 1 生産ラインを 2024 年第 3 四半期、第 2 生産ラインを 2026 年第 1 四半期と予定しており、当期連結業績への影響は軽微であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

(ご参考) 拠点別血液回路工場

	概要	
M. E. Nikkiso Co., Ltd.	所在地 主な仕向地	タイ/シンコク 日本
M. E. Nikkiso Vietnam Co., Ltd. (2022 年 2Q より稼働予定)	所在地 主な仕向地	ベトナム クアングアイ 米国など
Nikkiso Vietnam MFG Co., Ltd.	所在地 主な仕向地	ベトナム ホーチミン 日本及びその他欧米等(中国除く)

以上